



## 第2回 座談会 当日の様子

11月11日(木) 10:40~11:40に、〈第2回 座談会〉を開催しました。

今回のテーマは「地域の様々な学校の情報を知り、子どもたちの生活について話し合おう。」との事で、参加希望者が25名。当初予定していた高根木戸東町会会館だけでは密になるとの事で、会場をくーおんに小学校高学年・中学生・高校生の保護者9名、スタッフ4名

東町会会館に小学校低学年、未就学児保護者16名、スタッフ4名の2か所に別れて、個々のテーマに対して話し合いを進めていきました。

当日の様子を、ご報告します。

### 【理事長挨拶】

学年によって2か所に分けての開催となったが、コロナ禍で集まる事が難しい中、参加してもらえてうれしい。1歳児から高校生までのさまざまな年代の子を持つ保護者の方に集まってもらったので、学校などの情報交換ができればいいと思います。

### 【会場に分かれて座談会開始】

～くーおん～

Q 現在困っている事について教えてください。

反抗期、登校しぶりで困っている話がありました。成長を感じるとともに、対応の難しさも感じていらっしやいました。他の子の行動を見て、自分もそうしてみたい、と言ったり、ニュースの言葉に興味をもち意味を聞いてきたり、など賢くなったなと感じるが、どのように伝えたらいいのか難しいとのお話がありました。



Q 今の生活で大切にしていることについて教えてください。

お子さんの年齢が小さい頃は、命に関わること以外は怒らず、他の事はゆっくり出来るようになるといいなと見守り、学年が大きくなると自分のことは自分で出来るようにと見守ることを大切にされていました。また、家でリラックスして充電し、また学校で頑張れるように、好きなこと、やりたいことに寄り添うなど、参考になるお話を伺うことができました。

- ・ 命に関わること(危険なこと)、人に手を出すこと以外は、怒らないようにしている。他の事は少しずつ出来たら良いと思う。
- ・ 学校やデイサービス(親から離れたところ)で学び、様々な面で成長している。頼れるところは、家以外の所の力を借りる。
- ・ 中学生になり、将来の事を考えるようになり、自分のことが出来るように、また就業に繋がるように、お手伝いに取り組んでいる。
- ・ 今までは親がレールを引いていたが、自分でさせるようにしている。親も子離れ。
- ・ 自分の好きなことを十分にできるような環境にしている。
- ・ 家ではくつろいで充電し、また外で、学校で頑張れるように。家ではリラックスできるようにしている。

- ・ 本人がやる言ったことは、途中でやりたくないと言っても最後まで一緒にやってみようとしている。子どももできた！と喜んでいる。
- ・ やりたい！という気持ちを大切に、親は見守って、チャレンジさせる。



～高根木戸東町会会館～

Q 小学校選びのポイントや重視した点を教えてください。

- ・ 小学校で情緒級に行くか、知的級に行くか迷い、いろいろな学校（支援学校も含め）を見学に行った。最終的に学校に行くのは子ども本人なので本人が楽しいという意味を大事に選んだ。
- ・ 幼稚園でトラブルになる事もあり、普通級に行ってもトラブルがあるかと思い、支援級を見学した。教育センターでのテストや聞き取りなどの結果も見て、やはり支援級がいいと思った。
- ・ 情緒級か普通級か迷い、子どもの伸ばしてほしい所を重視して普通級を選んだ。また近の学校の情緒級には同じ学年の子がいないという情報があったので、同い年の子との関りの中でどこまでできるか試したくて通常級を選んだ。

◎未就学児保護者からの質問→支援級にはどんな種類がありますか？

- ・ 知的級と情緒級がある。小学校によってどちらかの支援級しかない学校もあるし、どちらもない学校もある。就学相談で wisc の検査を受けられるようお願いして検査を受け、その結果を見てどのクラスが良いか選ぶ。IQ75 以上なら情緒級を選べるが、保護者がどうしても情緒級に入りたいと伝えれば入る事も出来る。子どもの様子は 1 年で変わるので、年中、年長で 2 回検査を受けても構わない。学校に入れない事は無いので、年長の 2 月まで学校選びを悩んでも大丈夫。
- ・ 1 年生の 4 月から通級指導（通常級に在籍していて、週に 2, 3 回勉強やコミュニケーションなどの指導を受けるところ）は利用できない。
- ・ 知的級は学校によって時間割りが全然違う。勉強重視のところや、生活単元学習を重視している所など、学校や先生によって違うので、見学に行った際に時間割りをもらって、確認した方がいい。
- ・ 情緒級は普通級になぞらえた教科を勉強し、自立活動の時間もある。学校によって交流級（普通級に入って一緒に活動する）が多い学校と少ない学校がある。

→結局時間割りは学校によって全く違うので、見学に行って決めるのが一番いい。

◎未就学児の保護者からの質問→小学校に入ってから放課後デイの利用を考えているが小学校が決まっていないと決められない。いつごろから放課後デイを探していましたか？

- ・ 放課後デイをどのように使いたいかによる。（習い事系のデイか放課後ルームのように居場所になるデイか）
  - ・ 小学校入ってすぐに放課後デイに入れたので、年長の 10 月くらいには見学に行った。
- 山下…年長の子どもは小学校に向けてなど気持ちも幼稚園も忙しい時期。4 月に小学校入学すると、生活が全て変わるのでそのタイミングで放課後デイに入れるのは酷な子も居る。
- ・ 1 年生の時はくーおんにしか通っていなかった。小学校に入ってから子どもに何をさせたいか見えてくるので、それから放課後デイを探しても遅くない。習い事系のデイの他に、母と子のリフレッシュのためにも居場所になるデイに週 1 くらい通ってもいいかも。
  - ・ 居場所が欲しいなら母が居場所になるようなデイを小学校に入る前にリサーチしておいても良いのでは？

Q 今の生活で大切にしている事を教えてください。

- 母の気持ちの持ちよう。子どもの気がコロコロ変わるので、子を笑わせて母も笑顔になりお互いリセットする。
- 時間がなくても子どものペースに付き合う。子どもの話を聞いてあげる。
- 怒るより叱る事を心がけている。1つ叱ったら5個褒める。どんなに時間がなくても子どもの質問には答えるようにしている。
- 母が感情的にならない様に気を付けている。
- 兄弟がいると一度に話しかけてきて、1対1で話を聞く機会が少ない。母もイライラしてくるが面白い方向に持って行って中和している。
- 子どもがマイペースでイライラする事もあるが、少し遅刻しても大丈夫だと母が思うようにしている。一緒に遊ぶ時間を増やす。
- 幼稚園でほめて伸ばすといいとアドバイスをもらった。怒る時は怒る、ほめる時はほめるとメリハリをつける。
- 怒らないようにしようと思っていたが、兄弟がいると怒らないことはできない。怒らないようにしようと思うのはやめて、兄弟1人1人にオーバーに愛情表現をしている。

今回は2会場に分かれての座談会になったので、始まりと終わりをZOOMで共有する形で、会場の様子を報告しあっています。低学年の保護者の方からは、後日談として、「高学年の保護者の方の話聞いてみたかった。」との意見もいただいています。

今年度は、法人初の【意見交換会】も行い、【座談会】も復活！

多くの保護者の方に、アンケートのご協力をしていただきました。

コロナ禍で、自粛ムードが強いなかですが、お子さんが健全に成長するべく環境を、これからも提供していけるよう、努力をしていきたいと日々考えています。

